

薬剤師が習得すべきベッドサイドでの知識・スキルを学ぶ



薬剤師のための ベッドサイドティーチング 2016

キー局と全国ファイザーの拠点を双方向に結んで行われるWebセミナー

第 5 回

Question the Status Quo 循環器でどうしても外せない 七つのクスリ



セミナーコーディネーター

青木 眞 先生

感染症コンサルタント



演者

香坂 俊 先生

慶應義塾大学 医学部
循環器内科 専任講師

日時

2017年2月15日(水) 19:00~21:00

場所

おりなす八女 第3研修室

*本セミナーは、公益財団法人日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度における
グループ研修受講単位(1単位)を申請できます。

主催 ファイザー株式会社

一般社団法人 八女筑後薬剤師会

第

5

回

Question the Status Quo

循環器でどうしても外せない七つのクスリ

●セッションの目的

心不全には利尿薬、狭心症にはニトロ、、、ずっと昔から決まっているかのように思われています。

しかし、半世紀を経て狭心症、心筋梗塞、不整脈、心不全、弁膜症など、循環器で扱う疾患の理解は大きく進みました。その中で、医師側と患者さん側のツボをピタリとおさえることのできる「外せない」クスリはそれほど多くありません。おそらく六〜七つがよいところでしょう。

タイトルの Status Quo というのは「現状」を意味するラテン語です。現代循環器学は様々な「現状」に対して疑問を投げかけることで進歩を繰り返し、ここまでやってきました。このセッションでは、昨今の循環器外来や病棟でクスリを実践的に使用していくためのポイントをカバーしていきたいと思います。

<なぜ、循環器内科か?>

医師と薬剤師の思考プロセスは自ずと異なりますが、目的は患者さんの予後改善という一点に集約されます。そしてエビデンスが多方面から集められ、高度に専門的な医療が要求される分野となった循環器内科は、チーム医療が最も威力を発揮する分野でもあります。このセッションを通じて循環器内科の医師側の思考プロセスを共有させていただき、参加者の皆様にはそれを日々の薬剤コンサルテーションに活かしていただければ幸いと思っています。

○ 香坂 俊 先生 略歴

慶應義塾大学医学部 循環器内科 専任講師

1997年 慶應義塾大学医学部卒業

1999年 Columbia 大学 St. Luke's-Roosevelt Hospital Center 内科 Resident 及び Chief Resident

2003年 Baylor 大学 Texas Heart Institute 循環器 Fellow

2006年 Columbia 大学 循環器内科スタッフ

- ・米国循環器内科専門医(ABIM)
- ・米国心臓移植専門医(UNOS)
- ・米国心臓核医学専門医(ASNC)
- ・米国心臓超音波専門医(ABE)

2008年より 慶應義塾大学 循環器内科

2010年より 慶應義塾大学医学部 卒後臨床研修センター

- ・日本循環器学会 高安賞受賞 (2011)
- ・Best Teacher Award (2012)

開催スケジュール (2016年度)

開催日	テーマ	担当講師	開催日	テーマ	担当講師
第1回	終了	バイタルサイン編 徳田 先生	第4回	終了	腫瘍学編 山内 先生
第2回	終了	症候論 須藤 先生	第5回	2月15日(水)	循環器編 香坂 先生
第3回	終了	小児科編 笠井 先生			